

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目   款：商工費   項：観光費   目：観光開発費

### 事業名   新大河ドラマ活用推進事業費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 観光国際局 観光資源活用課 広域連携係   電話番号：058-272-1111（内 3148）

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費                      71,944 千円（前年度予算額：              0 千円）

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	71,944	0	0	0	0	0	0	0	71,944
決定額	71,944	71,944	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

令和4年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」（令和4年1月放送開始）に引き続き、令和5年の大河ドラマ（令和5年1月放送開始）が「どうする家康」に決定した。県内には両ドラマゆかりの地が多く、ドラマ内での県内史跡の描写も期待されることから、放送を契機にゆかりの地を有する都道府県、市町村等と連携して本県の魅力を全国に発信し、観光誘客、周遊観光の推進を図る。

### （2）事業内容

- ① 「どうする家康」活用による愛知県・静岡県と連携した周遊観光の促進
  - ・ 3県連携周遊スタンプラリーの実施等
- ② 「どうする家康」活用による県内ゆかりの地と連携した誘客促進
  - ・ 岐阜関ヶ原古戦場記念館での大河ドラマ展の開催等
- ③ 「鎌倉殿の13人」活用による大河ドラマ関連展示
  - ・ ぎふワールド・ローズガーデンでの関連展示等
- ④ 「鎌倉殿の13人」活用による県内ゆかりの地と連携した誘客促進
  - ・ ゆかりの市町巡回パネル展等
- ⑤ 「鎌倉殿の13人」活用による観光キャラバンの展開

### (3) 県負担・補助率の考え方

県内への誘客促進は県の事業であり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	70,719	①「どうする家康」活用による3県連携周遊観光促進 ②「どうする家康」活用による県内ゆかりの地連携誘客促進 ③「鎌倉殿の13人」活用による大河ドラマ関連展示 ④「鎌倉殿の13人」活用による県内ゆかりの地連携誘客促進 ⑤「鎌倉殿の13人」活用による観光キャラバンの展開
事務費	1,225	報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料
合計	71,944	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

岐阜県観光振興プラン

### (2) 国・他県の状況

大河ドラマに関係する他県との連携PRのほか、ゆかりの地をPRするための広告宣伝、イベント開催、NHKと連携した企画展示等の実施を予定。

### (3) 後年度の財政負担

大河ドラマ「どうする家康」が放映される令和5年度も引き続き、ドラマを活用した観光誘客や周遊観光の促進に係る取り組みを継続的に展開する。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県内への誘客促進は県の事業であり、県負担は妥当。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

令和4年放送のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」及び令和5年放送の「どうする家康」を活用し、観光入込客、宿泊客を増やし、観光産業の振興ならびに地域の活性化を図る。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
観光消費の経済波及効果						%
観光入込客数（実数）						%
外国人延べ宿泊数						%

**○指標を設定することができない場合の理由**

**（これまでの取組内容と成果）**

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	大河ドラマの放送は、舞台となった地域に非常に大きな経済効果をもたらすことが期待されるため、観光の基幹産業化に向け、ドラマを活用した取り組みを進めていく必要がある。
3	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	事業効果を上げるため、ゆかりの地を有する他県のほか、県内市町の行政等と連携して事業を推進する。
2	

### (今後の課題)

<p>ゆかりの地を有する他県のほか、県内市町と連携した積極的な取り組みが必要である。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>大河ドラマ「どうする家康」の放送が終了する令和5年度まで事業を継続する。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	